



ろうさい連携だより

2022.1
第36号

病院の理念

患者さんの立場に立った、満足と納得をして頂ける医療の実践

- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 日本医療機能評価機構認定病院

基本方針

- 1 患者さんの権利を尊重し、安全と安心を第一に考える医療を提供します
- 2 科学的根拠に基づく質の高い医療を提供します
- 3 職員全員が和となったチーム医療を実践します
- 4 地域の方々と勤労者の健康管理を支援します

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。昨年中は医療連携に大変お世話になりましたが、本年はより連携を強化させていただければ幸いです。

さて、2020年そして2021年と全世界で未曾有の事態を引き起こしている新型コロナウイルス感染は多少の小康状態はあるものの依然として世界各地で流行を断続的に繰り返し、またさらなる変異株によって脅威にさらされています。このような事柄は医療界全般に程度の差こそあれ確かなインパクトを今年も与えていくことでしょう。コロナ患者の入院によって病院医療の弱点が奇しくもあぶり出されましたが、働き方改革や地域医療構想と相まってこれからの医療は一大転換点が目前に迫っていると思われまます。

当院もコロナ外来対応の他、入院診療体制などを大幅な調整を余儀なくされ受診差し控えや院内感染防止の徹底、面会謝絶など一般診療を通常通り継続することが困難で対策も容易でないこともしばしばでした。しかし、ピンチはチャンスと捉え当院のあり方を見直す時期であると感じ、コロナ禍の間隙を縫って昨年11月に臨床研修評価機構による研修医教育の評価を、12月には病院機能評価を続けて受審しました。第三者の目を借り当院の診療をさらなるバージョンアップを図るためです。また、総合患者サポートセンターを新たに設置しその中の入院支援業務やMSWによるがん相談、患者さま相談、医療福祉相談、両立支援相談など各種個別に対応が出来る相談窓口を展開し利便性を図りました。

診療では、最近開設しました腎臓内科、地域包括ケア病棟、総合診療科などの分野が定着してきており幅広い診療を提供できてきているかと思ひます。さらに、コロナ前、頻繁に実施していましたが近隣住民を対象とした講演会やがん拠点病院として外部講師を招いての公開講座をリアル開催が出来ていない状況でしたが、WEBを活用した開催も定期化してお役に立っていると自負しています。ICTによって登録医や介護施設の方々の新たな情報発信そして新たな繋がりができつつあります。今後とも、より地域医療機関との連携強化を図りニーズの把握に努めともに勉強しながら、紹介・逆紹介の向上を図りスムーズな退院調整を目指してまいります。

当院は地域医療と当機構の政策医療としての勤労者医療の二刀流で地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院、二次救急当番病院、災害拠点病院などの役割を果たしております。しかし、宮城県の地域医療構想の中で病院統合・合築などの動きの中に置かれておりますこと、連携の医療機関・介護施設そして地域住民の方々に多大な御迷惑とともにご懸念を抱かせておりますことに深謝申し上げます。ともあれ我々と致しましては、脚下照顧、まずは今まで通り質の高い診療を地域医療に提供することを基本として貢献してまいりたいと考えています。コロナ対策と一般診療の両立を図りながら、患者さん第一の立場で質の高い満足と安全を得られる診療に邁進したいと存じます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。最後にコロナの一日も早い終息と連携医療・介護施設の皆様のご繁栄を祈願致します。



病院長 徳村 弘実

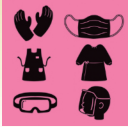
目次

- p1-4 新型コロナウイルス感染症対策を振り返って
- p4 地域医療連携センターから
- p5 東北労災病院外来診療担当表

COVID-19 病棟 SNAPSHOT みんなの協力に ありがとう



新型コロナウイルス感染症対策を振り返って



COVID-19陽性患者の看護

COVID-19病棟師長 山田 由美

一昨年より、目に見えないコロナウイルスの感染蔓延により、当院の看護部も大きな影響を受け、これまでの当たり前が当たり前ではない状況となりました。2020年9月、小児科、耳鼻科、救急科、腎臓内科からなる病棟を再編し、10月からのCOVID-19専用病棟での入院受け入れに向けて急ピッチで準備を行いました。病棟で対応するスタッフは、COVID-19に対応可能な看護師を中心に全ての部署から参加し、3交替勤務でCOVID-19陽性患者の対応をする事としました。

12床から始まった病棟も今年の夏には20床まで増床し、満床の日々もありました。6月からは季節的に気温も上がり、レッドゾーンでの感染防護具を装着しての何時間も続く業務は、本当に過酷な状況でした。しかし、勤務するスタッフは「病棟から新たな感染を病院内に持ち出さない」の思いだけで夏を乗り切りました。病棟で勤務するスタッフはCOVID-19に対する知識を十分に習得し、感染防護対策も万全です。しかし、自らが「感染するのではないか」という不安を抱えながら勤務をしている事も事実です。また、自らが「感染源になってはいけない」と必要以上の行動制限を自分自身に課す事もあり、常にストレスを抱えています。それでも看護師としての使命感でCOVID-19感染患者に一般病棟の患者さんと同じ様に看護を行っています。

10月中旬より入院の対象患者はおりません。これは非常に喜ばしいことですが、新たにオミクロン株による感染者が出現しており、年末年始の動向に注意を払いながらいつでもCOVID-19感染患者の受け入れが出来る様にしています。

看護師は、看護の先駆者であるナイチンゲールの「看護覚書き」の「看護師とは何か」を常に追求し続けています。目に見えないウイルスとの長期化する戦いに心が疲弊する事もありますが、看護師として、これからも一般病棟、COVID-19専用病棟を必要とする患者さんのために、最良で質の良い看護を提供していく次第です。

私はCOVID-19専用病棟看護師長として、今後も引き続きCOVID-19陽性患者に対応してくれる看護師を守るためスタッフのメンタルヘルスケアを行うと同時に、日本看護協会が示す「安心して働ける職場環境の整備」「自由な発言を認める雰囲気づくり」「周囲との密な連携」「管理者自身のメンタルヘルスの維持」を実践していきたいと思えます。



仙台市保健所との連携と院内感染対策

感染管理認定看護師 石黒 政春（感染対策室）

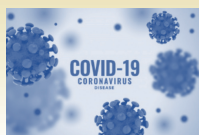
東北労災病院でCOVID-19感染症関連の患者受け入れが始まったのは、2020年2月初旬、春節で中国に帰省していた留学生が帰国後発熱の症状があり保健所から受診の依頼があり受け入れたのが最初でした。2020年1月にCOVID-19感染症受け入れシミュレーション訓練を実施したことで、大きな混乱なく診察できたことを覚えています。その後、COVID-19感染症疑い症例の診察を「帰国者接触者外来」と称し、毎日のように1～2名の患者

を受け入れました。患者の受け入れに際し、保健所との連絡調整は感染対策専従看護師の役割であり、日々電話でのやり取りや帰国者接触者外来の診察介助等で1日が終わってしまうことが多くありました。また、当時、SARS-CoV2 PCR検査が実施できる医療機関は少なく、全て保健所が検体を回収しPCR検査を実施していたことから、検体回収に至るまで保健所との調整が必要となっていました。帰国者接触者外来では、多い時で1日に40名弱の患者のPCR検査を行ったこともありましたが、次第に民間の検査機関の参入や各医療機関でSARS-CoV2PCR検査が実施できるようになってからは、COVID-19感染症陽性患者のアセスメント診察の受け入れに移行し毎日8名を上限に陽性者の重症度、入院加療の要否を採血・胸部レントゲン検査等で評価しております。

行政からの依頼で受け入れた患者数は、帰国者接触者外来で延べ994名、COVID-19感染症陽性者アセスメント診察で1263名と数多くの患者の診察を行いました。約2年間、行政と連携を取りながら患者の受け入れを継続できたのは、各科の医師や看護師、事務職員、レントゲン技師、検査技師等多くのスタッフの協力があったからこそと実感しております。また、当院でCOVID-19感染症の診察に関わるスタッフのコロナ感染は現在まで発生が無く、各自が確実に感染対策を習得し現場に臨んでいることや日頃の手指衛生のたまものであると思います。

宮城県新型コロナウイルス感染拡大第3波となった2020年12月から2021年1月にかけて、当院の職員にもCOVID-19陽性者が発生しました。院内の報告体制が整っていたこともあり、迅速に新型コロナ緊急対策本部会議を招集し対策を講じることが出来ました。また、日頃から、昼休憩での黙食や換気を徹底し職員間の伝播に十分注意を払っていたこと、擦式アルコール手指消毒剤を携帯するよう強く推奨し、看護師をはじめ、医師や医療職、事務職員の個人携帯が増え、感染対策への強い意識を持って手指衛生を実施することができたことで、院内クラスターを発生させることはありませんでした。

今後、いつまでこの状態が続くか分かりませんが、気持ちを緩めることなく職員全員が同じ気持ちで感染対策を継続していきたいと思っております。



新型コロナウイルス感染症対策を振り返って

東北労災病院新型コロナウイルス感染症対策本部・副院長 三浦 元彦（呼吸器内科）

2020年2月徳村病院長より、新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げるよう指示を受けまして、一般診療とコロナ診療の両立という基本構想のもと、具体的な組織構築を開始しました。国内の新型コロナウイルス感染症のまん延状況は刻々と変化し、行政からも次々と要請が寄せられるなか、外来、入院、手術の各臨床に関係する部会を立ち上げ、帰国者接触者外来・発熱外来の設置と運用方法の確立、感染状況に応じた入院診療体制の整備、定期手術抑制の基準の決定、院内からの陽性者出現の防止と院内クラスター発生阻止のための院内感染対策など、各部会のリーダーや石黒院内感染対策管理者とともに計画・実施しました。

実施に際しては、部会で作成した原案をもとに、病院長出席の上毎週開催する対策本部会議にて方針を最終決定しました。新型コロナウイルスに関する情報や対策も逐次変化するため、院内への情報発信を行う情報管理部会、PPEや薬品の確保を管理する物品薬品管理部会、院内におけるウイルス検査の方針決定や検査体制の整備を行う検査部会も同時に立ち上げ、院内で統一されたコロナ診療及びコロナ対策を進める体制を確立しました。これらコロナ対策の基本方針のもと、一般診療とコロナ診療の両立という基本構想を維持しつつ現在に至っています。

当院では、第1波の終盤である2020年4月20日に、呼吸器内科外科病棟を閉鎖して、COVID-19の入院患者受け入れを開始しました。受け入れ人数は第1波では5名、7月から9月の第2波では約20名でしたが、最終的に、第3～5波も合わせ合計285名の入院患者を受け入れてきました。2020年9月からは、小児科・耳鼻科などを主科とする病棟をCOVID-19病棟へ転用し、COVID-19病棟勤務を快く受け入れてくれた有志の看護スタッフ・山田看護師長と呼吸器内科医師（患者数増加時には内科専攻医、一時は他科医師も含めて）で診療にあたりました。当初3床でスタートした病床数も行政の要望にこたえる形で最終的には20床まで増床しました。一方外来においても、陽性者のアセスメント、疑い患者の救急対応と、外来看護スタッフなど多くのスタッフの協力でここまで乗り切っています。また、感染対策チームの努力と多少の幸運により、院内クラスターの発生なく経過し、一般診療を休止することもなくここまで来ています。

今後も気を緩めることなく、スタッフ同士支えあいながら、先生方のご要請に答えるべく頑張っていきたいと考えていますので、今後ご支援よろしくお願いたします。

地域医療連携センターから

人事異動のお知らせ

採 用		
令和3年10月1日付	耳鼻咽喉科	上 畑 里 奈
令和3年11月1日付	耳鼻咽喉科	小 林 祐 太

退 職		
令和3年 9月30日付	耳鼻咽喉科	鵜 沼 むつ貴
令和3年10月31日付	耳鼻咽喉科	白 倉 真 之
令和3年12月 3日付	整形外科	佐 藤 諒

月別紹介患者数

	紹介患者数（人）	逆紹介患者数（人）
令和3年4月	1,088	822
令和3年5月	926	738
令和3年6月	1,074	854
令和3年7月	1,074	806
令和3年8月	969	771
令和3年9月	1,098	731
令和3年10月	1,130	798
令和3年11月	1,114	764

東北労災病院 外来診療担当表 (令和4年1月4日)

科/部門	曜日	曜日					特殊外来・各種教室等		
		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	名称	曜日	時間
総合診療科		小山 二郎	小山 二郎	小山 二郎	小山 二郎	小山 二郎	完全予約制		
胃腸内科		白木 学	浜田 史朗	小島 康弘	浜田 史朗	小島 康弘			
		齋藤 晃弘	武田 瑶平	近藤 穰	白木 学	近藤 穰			
		齋藤 紘樹		半田 朋子	清水 貴文	今成 賢士郎			
内視鏡	上部	大原 秀一 浜田/近藤	大原 秀一 近藤/半田	大原 秀一 浜田/齋藤(紘)	大原 秀一 近藤/半田/山川/武田	大原 秀一 浜田/齋藤(晃)/玉淵/清水			
	下部	小島/清水	小島/白木	白木/玉淵/武田	小島/齋藤(晃)/齋藤(紘)	白木/半田/武田			
肝臓科		小林 智夫 山川 暢	阿部 直司	阿部 直司 山川 暢	阿部 直司 小林 智夫	外来担当医			
腫瘍内科		森川 直人	丹田 滋	佐藤 悠子	森川 直人	丹田 滋	院外新患は毎週月・木・金曜日の午後(予約制)		
緩和ケア内科		小笠原鉄郎11:00～12:00	小笠原鉄郎9:00～12:00	小笠原鉄郎11:00～12:00	小笠原鉄郎9:00～12:00	小笠原鉄郎11:00～12:00			
糖尿病・代謝内科		今野 陽介(登録医新患)	熊谷 絵里(登録医新患)	中村 麻里(登録医新患)	今野 陽介(登録医新患)	鴛田 藍(登録医新患)			
循環器内科		田中 光昭(新患)	高橋 貴久代	宇塚 裕紀(新患)	田中 光昭(新患)	田中 光昭(新患/第1・3・5)			
		高橋貴久代(再来)		田中 光昭(再来)	宇塚 裕紀(再来)	高橋貴久代(再来)			
高血圧内科		金野 敏	宗像 正徳	宗像(第2・4)、金野(第1・3・5) (院外新患のみ)	宗像 正徳	金野 敏			
腎臓内科			神田 学			神田 学	完全予約制		
呼吸器内科		三浦 元彦	榊原 智博	田代 祐介	三浦 元彦	榊原 智博	喘息外来(予約制)	月	14:00～15:00
		田代 祐介	大塚 竜也	中村 優	中村 優	大塚 竜也	重症喘息外来(予約制)	木	14:00～15:00
		竹田 俊一	谷津 年保	阿部 武士	谷津 年保	阿部 武士	禁煙外来(完全予約制)	火	14:00～16:00
呼吸器外科		保坂 智子				保坂 智子			
心療内科		町田 貴胤	町田 貴胤	町田 貴胤	町田 貴胤	町田 貴胤	新患は火・水曜日のみ 完全予約制		
		町田 知美	町田 知美	町田 知美	町田 知美	町田 知美			
小児科		千葉 靖	千葉 靖	高柳 玲子	高柳 玲子	千葉 靖	午後診(すべて予約制) 乳児健診(及川):月・木・金曜14:00～ 予防接種:火・木曜14:00～ 腎臓外来(千葉靖):木曜14:00～		
		高柳 玲子	沼田 美香	沼田 美香	及川 智子	沼田 美香			
		及川 智子(不定期)		—		及川 智子(不定期)			
消化器外科		成島 陽一	消化器外科担当医(新患のみ)	松村 直樹	徳村 弘実	野村 良平	ヘルニア外来:月・火・木・金 胆石外来:月・火・木・金 胃外科:金(受付14時まで) 大腸外科:水 ストーマ外来:火曜午後予約制		
				佐藤 馨	野村良平/平嶋倫亮	本山 一夫			
大腸肛門外科			高橋 賢一 羽根田 祥						
乳腺外科		本多 博	※本多 博(午後新患のみ)	鶴見菜摘子(午後)	千年 大勝(第1週) 吉田 清香(第2週以降)	(午前)本多 博 (午後)千年 大勝	※午後新患のみで予約制		
整形外科	関節	井樋 栄二(午前のみ)	小河 裕明	信田 進吾	小河 裕明	井樋 栄二(10:00まで)	※小河裕明 第4火曜 午後不在		
		信田 進吾	奥野 洋史	※小河 裕明	—	信田 進吾			
		奥野 洋史	國井 知典	國井 知典		奥野 洋史(午前のみ)			
		松澤 岳(午前のみ)	松澤 岳(午前のみ)	—		松澤 岳(午前のみ)			
	—	三浦慎次郎(午後のみ)	—						
脊椎			日下部 隆 松谷 重恒		※①日下部 隆 ※②松谷 重恒	日下部 隆 松谷 重恒	※①日下部隆 第2・4木曜 午後不在 ※②松谷重恒 第1・3木曜 午後不在		
				原田 健登(午前のみ)	原田 健登(10:30～12:00)				
脳神経外科・脳卒中科		柏原 茂樹(午前) 高橋 智子(午後)	柏原 茂樹(午前)		柏原 茂樹(午前) 高橋 智子(午後)	柏原 茂樹(午前) 高橋 智子(午後)	※月・木・金曜の午後の受付は 14:00まで		
皮膚科		谷田 宗男	谷田 宗男	谷田 宗男	谷田 佳世	谷田 宗男	※水曜受付10:00まで【手術日】 月・火・木午後検査(予約制)		
		谷田 佳世	秋野 萌子	谷田 佳世	秋野 萌子	秋野 萌子			
泌尿器科		阿部 優子(新患)	浪間 孝重	浪間 孝重	櫻田 祐	新患担当医			
		浪間 孝重	島谷 蘭子(新患)	島谷 蘭子(新患)	梅本 秀俊(新患)	阿部 優子			
産婦人科		阿部 祐也	—	東北大学医師	阿部 祐也	—	※月・水・木曜日の午前のみ 完全予約制		
眼科		植松 恵	植松 恵	植松 恵	植松 恵	植松 恵	※月曜日(受付10時まで) ※火・木曜日 手術日(受付10時まで) ※水・金曜日午後検査(予約制)		
		星 佳佑(午前のみ) 東北大学医師(午前のみ)	星 佳佑	星 佳佑	星 佳佑	星 佳佑			
耳鼻咽喉科		渡邊 健一	渡邊 健一	渡邊 健一	渡邊 健一	渡邊 健一			
		織田 潔	織田 潔	織田 潔	織田 潔	織田 潔	手術日 月・水・金 再来予約制		
		小林 祐太	小林 祐太	小林 祐太	小林 祐太	小林 祐太			
		戸塚 大幾	戸塚 大幾	戸塚 大幾	戸塚 大幾	戸塚 大幾	舌下免疫療法:木曜午後 (完全予約制)		
		上畑 里奈	上畑 里奈	上畑 里奈	上畑 里奈	上畑 里奈			
リハビリ科		入間田 美保子	—	大山 健二	大山 健二	—			
	小松 恒弘	心リハ外来	心リハ外来	小松 恒弘	小松 恒弘	心リハ外来	※外来院内紹介は午前のみ		
			※東北大学医師(第5を除く)						
放射線治療科		田邊 隆哉	田邊 隆哉(新患)	田邊 隆哉	田邊 隆哉	田邊 隆哉(新患)	完全予約制		
リウマチ科		—	畠山 明	畠山 明(新患)	畠山 明	—	完全予約制 新患は電話で予約		
歯科		加藤 一郎	加藤 一郎(新患)	加藤 一郎	—	加藤 一郎			
		永井 浩美	永井 浩美	永井 浩美	永井 浩美	永井 浩美	完全予約制		
	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲			



独立行政法人 労働者健康安全機構 **東北労災病院**

〒981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4-3-21

受付時間 8:15～11:00

代表電話 022-275-1111(代表) 代表FAX 022-275-4431

地域医療連携センター

直通電話 022-275-1467 直通FAX 0120-772-061